

| | | | | | |
|------|--|------|--------|----------|-------------|
| 科目名 | 哲学 (Philosophy) | | | 科目コード | 109 |
| 開講学科 | 看護学科・臨床検査学科 | 選択区分 | 選択 | 単位数 (時間) | 2 単位 (30時間) |
| 科目区分 | 共通教育科目 | 履修時期 | 1 年次後期 | 関連DP | 看①④⑤、臨①⑤ |
| 担当教員 | 山本 興志隆* | | | | |
| 授業概要 | 思考の画一化が進む現代、自分で「考える」ことはどういうことかを考える。特に、哲学を人間のあらゆる知的営みの根元の学びととらえる立場から「人間とは何か」「人間とはいかに生きるべきか」という中心問題について、現代社会の諸問題を視野に入れながら広く深く考える態度を養成する。 | | | | |
| 授業目標 | 現代医学をも含む科学技術を育ててきた西洋の知の伝統をふり返り、その根本特徴を理解するとともに、東洋的なものの見方考え方と比較考察することで、現代の諸問題の根底にあるものを理解し、解決の方向性を深く考える態度を養う。 | | | | |

授業計画

| 回 | 項目 | 内容 |
|--------------|-----------------------------------|-----------------------|
| 1 | 哲学とは何か | 「哲学」の原義と根本性格と東洋の「思想」 |
| 2～4 | 古代の哲学 | 古代ギリシャにおける学知の成立 |
| 5～6 | 中世の哲学 | ヘブライ、キリスト教における創造の思想 |
| 7～9 | 近代の哲学 | 近代科学の成立と哲学の役割 |
| 10～11 | 東洋の思想 | 東洋的な自然観と人間観 |
| 12～13 | 現代科学の諸問題 | 生命・身体・自然－機械論的自然観とその帰結 |
| 14～15 | まとめ | 哲学の今後の課題－現代の諸問題に即して |
| 成績評価方法 | 期末レポートにより評価する。 | |
| 教科書 | テキストは使用せずプリントを配付する。 | |
| 参考図書等 | 授業中に適宜紹介する。 | |
| 授業時間外の学習について | 授業中に配布するプリント、紹介した参考文献を読んでおく。 | |
| 関連科目 | 101 科学論、127 生命倫理、126 心理学、202 看護倫理 | |
| 備考 | | |